

マザアス
ニュース

ひだまり

第40号
2006年4月1日発行



早春の陽射しを浴びて（マザアス日野特養 4 階ベランダにおいて）

新年度のご挨拶

マザアス日野 施設長 今澤隆一郎

介護保険制度は発足後 6 年を経て、この 4 月より新しい枠組みで再スタートします。そのキーワードは「介護予防」と「自立支援」です。我がマザアスでも在宅サービスでの介護予防サービスを積極的に負う中で、お年寄りが少しでもその心身機能を維持・改善し、できる限り自立した生活を維持できるように支援したいと思えます。また特養やグループホームにあっては、お年寄りの意欲や能力を引き出す目標志向型のサービス提供を目指します。そのためには特養では、ユニットケアを徹底的に推進していくことが重要と考えます。職員自身が改めてユニットケアの意義・目的を学びなおしながら、介護のあり方、介護環境の整備を推進していきたいと考えています。皆様のご理解ご協力を切にお願い致します。

マザアス日野「ユニットケア」

●生活介護課 4 階、1 年目の取り組み●

マザアス日野 4 階では、40 名の方が生活しております。以前は職員 3、4 名が一斉にフロア全体を見渡して、居住者様の対応をしておりました。平成 17 年度 4 月より、広いフロアを 3 つのユニットに分け、「和」、「光が丘」、「彗星」と名前を付けてユニットケアの取り組みを開始しました。日中はそれぞれに職員を 1 名配置して居住者様にすぐに対応しやすい環境をつくり、安心して生活できるよう努めております。

居住者の皆様に職員が寄り添う環境が整うことで「ゆとり」の時間ができ、以前に比べて、おひとりおひとりに適切な対応が実現しやすくなりました。職員も担当ユニットを意識して業務にあたる事で、職員間での情報や意見の交換も活発になりました。普段から居住者様とのコミュニケーションを大切に、心地よい生活空間を感じて頂ける環境づくりに努めております。同時に居住者様のご要望に合わせて、楽しんで頂ける企画も随時実施しております。以前に増して、居住者様から色々なお話を聞かせて頂ける事が増えました。この 1 年のユニットケアの取り組みにより、居住者様に穏やかなお気持ちで過して頂ける事が多くなったと感じております。

今後も居住者様のご意向に沿う様取り組んでいきますので、どうぞよろしくお願い致します。

(マザアス日野 生活介護課 4 階主任 伊藤純子)



「和」・男性職員とデート気分のお散歩……
モノレールに乗って高幡不動に行きました。



「彗星」・お酒を飲みながら楽しい鍋パーティー。



ペタンペタン餅つき、お餅おいしかったですよ。



いつも仲良しの 2 人です……



普段からベランダで日向ぼっこ。「ピース！」



「光が丘」・「乾杯！」「おめでとうございます！」
お誕生会です。101 歳の方も参加されました。

デイサービスセンター マザアス多摩川苑

●プログラム紹介●

デイサービスの楽しいプログラムを一部ですが、紹介します。

《七夕行事》

地域の方から竹をいただき、栄養課職員もお手伝いして
昼食の時間に流しそうめんをしました。



なかなか好評で、ぜひ来年もチャレンジしたいと思います！

《絵画》

月2回、ボランティアの方に来苑していただき
絵画教室を行っています。



みなさん上手に描かれます。完成した絵は廊下に飾ります。

この他にも、たくさん楽しめるプログラムをご用意しています。マザアス多摩川苑職員一同、皆様のご来苑を心よりお待ちしております。

(デイサービスセンター マザアス多摩川苑 篠原要)

第3回マザアス日野・職員研究発表会報告

開催日:2月20日

助言者:日向野明子先生(東京YWCA専門学校講師)

岩井道子先生(マザアス評議員)

〈発表内容〉

テーマ		発表部門
1	個別プログラムの充実	デイサービス
2	逆デイサービス実施報告	生活介護課(2階3階合同)
3	採用経費と採用人員の実績調査と問題点の把握	総務課
4	地域での転倒予防教室の取り組み	在宅介護支援センター
5	介護保険適用外のニーズについて	ヘルパーステーション
6	特養における治療食のあり方について～腎臓病食～	栄養課
7	尿路感染を予防するためのケアについて	看護課
8	ユニットケアを始めて	生活介護課(4階)

盛り沢山の発表がありました。発表をすることで、日常業務に活かせる気づきやヒントを得られたと思います。ただ、多くの発表でメリハリのある構成にしたら、より印象的な報告になったとのコメントもありました。今後は、この発表会を職員間だけの発表に留まらず、利用者、家族、地域の方にも出席いただいて、共に学ぶ場と位置づけたいものです。

(マザアス日野 施設長 今澤隆一郎)

◆マザアス東久留米職員研究発表会より◆

毎年恒例の職員研究発表会が2月21日に行なわれました。その中から栄養課の発表を紹介します。



＜取り組んだ課題＞

食べる事(摂食・嚥下)は生命の維持に重要な機能である。加齢に伴い体を構成している代謝組織や各臓器の機能が低下するため、「食べる事」にも様々な変化が起こる。

栄養課では、個々のご利用者の咀嚼、嚥下状態に応じた食事の形態(大きさ、硬さ等)に配慮して食事を提供している。

2年前「粗口ボ」という形態があったが、利用者にとって食べにくく、また介助しにくいものでほとんどがオーダーされない状態であった。

「粗口ボ」をなくしてしまうのは簡単であるが、「一口大」が食べられなくなったら見た目がわからない「極きざみ」にレベルが下がりすぎてしまうことになる。見た目のわからない食事は食べる楽しみを奪い、食欲低下を引き起こしかねない。

ご利用者にとって食べやすく、見た目の満足度を得られる食形態はないだろうかと思ったことが今回の取り組みのきっかけである。



＜具体的な取り組み＞

対象車:粗口ボ、極きざみを食べている方々

- ①対象者の摂食状況をフロア巡回により観察
- ②実際にもそれぞれの食形態を試食
- ③問題点の抽出
- ④新しい食形態を考案
- ⑤厨房スタッフに切り方、大きさを指導
- ⑥粗口ボを食べていた3名に提供し観察
- ⑦切り方大きさを最終決定しマニュアル整備
- ⑧改善された食形態を「スライス食」とし、ご利用者へ正式に提供開始

【改善後のスライス食】



スライス食導入の効果

1. 粗口ボの方には定着が早かった
2. 極きざみ食からスライス食へレベルUPできる
3. 食事内容が認知できるため満足度が上がった
4. 口やスプーンからこぼれにくくなった
5. 開口が小さくても食べやすかった
6. 噛む力が弱くても噛みやすくなった
7. 摂食機能の維持に貢献できる
8. 誤嚥の危険性がある方に対応できる

スライス導入についての評価と課題

スライス食を導入してから1年半が経過しているが大きな事故もなく定着した。他の施設や病院にはないマザアス独自のサービスであると自負している。

スライス食はひとつずつ器械を使わず手作業のため粗口ボに比べて数倍時間がかかる。

器械化せず、効率的に行えるようにすることが課題である。

感想:試食あり、実際に食べ比べて体感出来、納得の発表でした。切り方の工夫で1切のサイズの大きい方が食べやすいなんて驚きでした。

こちら大門デイサービスセンター

大門デイサービスセンターは平成11年7月の開所以来、7年目を迎えました。
今日はデイサービスをご利用の4人の方々にお話を伺ってみました。

Aさん: [男性74歳・利用歴6年・奥様と愛猫の3人暮らし・浅間町在住・何でも作れる大門の職人さんです]

Bさん: [男性71歳・利用歴5年・奥様と2人暮らし・金山町在住・気さくで明朗、気配りの人大門のお父さんです]

Cさん: [女性80歳・利用歴6年・弟夫婦と4人暮らし・南沢在住・話上手、道着が懐かしいと仰る大門の大和撫子]

Dさん: [女性87歳・利用歴4年・1人暮らし・東本町在住・いつもニコニコ、笑顔が素敵な大門のアイドルです]

職員: マザアス大門で何をしている時が一番楽しいですか？

Aさん: 午後の趣味の時間かなあ。

Cさん: 季節ごとの外出と、話ができて手芸なんかが楽しみ。

職員: 他にもありますか？

Bさん: 顔を見て自由に話ができて気楽に話せることも楽しみ。

職員: デイサービスでこんなことができたらいいな、ということがありますか？

AさんCさん: あかね、一泊でもいいからみんなと一緒に温泉に行きたいね!

職員: そうですか。それではご希望に添えるよう努力いたします。

職員: デイサービスをご利用されるようになって生活面が何か変わったことはありますか？

Bさん: 今日は大門に行く日だと思うと元気になる!

Dさん: 職員からエネルギーをもらって若返った!

職員: プログラム以外で何かご要望はありませんか？

AさんBさん: そうねえ…お昼に熱燗1本でもいいから出してくれるといいね〜(笑)

職員: そうですか(笑) それでは次に、一寸聞きづらい質問ですが[大門のここがよくない]というご指摘があったらお聞かせ下さい。

Aさん: あかねえ…そんな困った質問しないでよ。血圧が上がるよお…まあ強いて言えば美人の職員が多いってことかなあ(笑)

職員: ありがとうございます…でもそれって困ったことなんですかあ？

Aさん: だって毎日利用できるわけじゃないじゃない! …お後がよろしいようで…

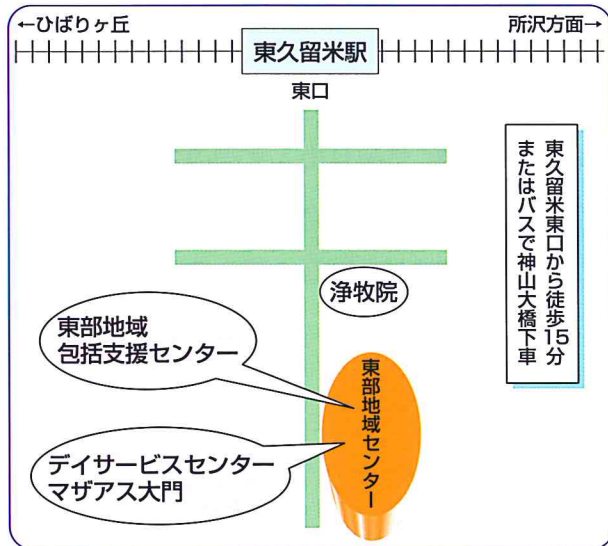


午後の趣味活動の様子

明るく楽しい
第二の“わが家”
大門デイサービス

●事業所移転のお知らせ●

東久留米市東部在宅介護支援センターは4月1日をもって東久留米市東部地域包括支援センターとなり、下記に移転しました。



〒203-0011
東久留米市大門町2-10-5
電話：0424-73-9996
FAX：0424-73-9986
センター長 佐田康子

●行事予定●

開設記念式典
東久留米事業所（11周年）…5月8日（月）
日野事業所（7周年）………5月7日（日）

グループホームおがわ ～平成18年5月1日オープン～



マザアス東久留米事業所における、三つ目のグループホームが小平市に出来ます。

施設概要

住所：小平市小川町1丁目113-8

構造：木造2階建て

居室：1階9室 2階9室

定員：2ユニット 18名

新しい施設でいっしょに働いてみませんか
パートタイマー職員若干名募集中

問い合わせ先：0424-77-7261（総務 藤原）

編集後記

先日、名所である目黒川に行ってきました。川沿いの桜は見事で、赤い橋に掛かるちょうちんにも風情があり、のどかな気分に入れます。でも地元住民としては黒目川がいいですね。今年は少し早めの桜も見納めになり、新年度が始まります。制度改正もあり、慌しいですが、また気持ちをリセットして今年度も乗り切りたいですね。

関口乙彦

〒203-0004 東京都東久留米市氷川台2-5-7

特別養護老人ホーム マザアス東久留米

Tel 0424-77-7261 Fax 0424-77-7500

デイサービスセンター マザアス氷川台

Tel 0424-77-7263 Fax 0424-77-7500

〒203-0004 東京都東久留米市氷川台2-6-6

ヘルパーステーション マザアス氷川台

Tel 0424-77-7260 Fax 0424-77-0977

グループホーム ひかわだい

Tel 0424-77-2150 Fax 0424-77-2150

居宅介護支援事業所 マザアス氷川台

Tel 0424-70-1740 Fax 0424-77-0977

〒203-0011 東京都東久留米市大門町2-10-5

デイサービスセンター マザアス大門

Tel 0424-70-0065 Fax 0424-70-8024

東久留米市東部地域包括支援センター

Tel 0424-73-9996 Fax 0424-73-9986

〒203-0032 東京都東久留米市前沢5-25-14

グループホーム たきやま

Tel 0424-77-1525 Fax 0424-77-1525

〒191-0024 東京都日野市万願寺1-16-1

特別養護老人ホーム マザアス日野

Tel 042-582-1661 Fax 042-582-1730

デイサービスセンター マザアス多摩川苑

Tel 042-582-1675 Fax 042-582-1730

ヘルパーステーション マザアス多摩川苑

Tel 042-582-1673 Fax 042-582-1730

居宅介護支援事業所 多摩川苑

Tel 042-582-1672 Fax 042-582-1730

在宅介護支援センター 多摩川苑

Tel 042-582-1707 Fax 042-582-1730

〒191-0062 東京都日野市多摩平2-13-14

グループホーム たまだいら

Tel 042-589-3668 Fax 042-589-3669

発行所

社会福祉法人マザアス

〒203-0004 東京都東久留米市氷川台2-5-7

Tel 0424-77-7261 Fax 0424-77-7500

ホームページ <http://www.moth.or.jp>

発行責任者：高原敏夫 編集責任者：田嶋精二